

一西だより



一西だより
www.city.toyokawa.lg.jp

豊川市立一宮西部小学校通信
令和6年11月22日 第25号
発行;校長 村上謙一

印刷物の写真映像が不鮮明なため、本号よりタイトル横にQRコードを掲載して、学校ホームページの「一西だより」にアクセスできるようにしました。スマホのカメラをかざしてみてください。

【6年生 プロから学ぶ！】



11月19日(火)元フェアリージャパン、北京五輪日本代表の遠藤由香さんにお越しいただきました。「やるべきことを一つずつこなしていった先に、オリンピックがあった」私には遠藤選手のこの言葉が心に残りました。6年生の皆さんは何を得ましたか。



【地域と共に】

11月15日(金)委員会の時間、チューリップ等の花壇づくりに、子どもたちが青少年健全育成連絡協議会・サポーターのみなさまと共に取り組みました。



【5年生トヨタ・三菱自動車工場見学】

11月18日(月)5年生が社会見学を行いました。教科書の学びを現場に出向いて確かめました。



【かけあし運動始まる！】



12月3日(火)のマラソン大会に向けて、かけあし運動が始まりました。ようやく気温も下がり、走りやすい気候になりました。

【サポーターのご登録をいただきました】

「学校にとって、地域は土、数年で異動する教員は風でしかない」「地域の未来をにう子どもは、地域で育てる」「地域・保護者は教育サービスの受益者ではなく、当事者である」「困っている子どもに寄り添う。それだけで十分」。そのような理念で立ち上げたサポーター制度。発足1年目は13名の地域の大人にご登録いただきました。11月20日新たにお2人のご登録をいただき、2年目は28名に膨らんでいます。まだまだ絶賛募集中です。校長室カフェも絶賛営業中です。

去る4月27日、木村泰子先生にお越しいただき、子育て・学校づくりについてお話をいただきました。テーマは「**子どもの事実から大人のみんなで学校づくりを問い直しましょう**」でした。講演では以下の言葉がありました。



「すべての子どもが一日の学びを終え納得して帰れば 保護者も納得 安心 教員は働くことが楽しい 教員一人の力では不可能！ だから大人のチーム力で子どもを育む」

「保護者・地域住民・教職員すべての人が学校をつくる当事者になる。子どもが自分の学校を自分がつくる。保護者が自分の子どもの学校を自分がつくる。地域の人、地域の宝が学ぶ地域の学校を自分がつくる。教職員が自分の働く学校を自分がつくる。困っている子が困らなくなる空気をつくるために」・・・



前半



後半

←木村泰子先生の講演はこのQRコードからご視聴いただけます。

講演を「いい話だったなあ」で終わらせず、行動に移しています。なかなかエネルギーのいる取組ですが、すべては子どもの未来のため。地域の大人が教育の当事者として、子どもにかかわる「サポーター活動」にご関心のある方は、お気軽に校長室までお問い合わせください。温かいコーヒーを用意してお待ちしております。

(一西小 電話 93-2007)